

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

上記基準日 定時株主総会については3月31日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

剰余金の配当受領 期末配当金については3月31日
 株主確定日 中間配当金については9月30日

単元株式数 100株

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人
 及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 (郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

証券・銘柄コード 7458

<お知らせ>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社は、貸借対照表及び損益計算書並びに連結貸借対照表及び連結損益計算書を、当社ホームページ(<http://www.dkkaraoke.co.jp/>)に掲載しております。

株主優待のお知らせ

2012年3月31日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。



所有株式数	年2回発行	
	優待券(*1)	CD交換(*2)
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

(*1)当社が運営する「ビッグエコー」店舗、「楽蔵」「ウメ子の家」「びすとろ家」などの飲食店でご利用いただけます。

(*2)優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

贈呈時期:2012年6月22日より送付開始
 有効期間:2012年7月1日～2012年12月31日

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 7458

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で報酬(図書カード500円)を贈呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



ECHO

Vol.33 第37期 決算のご報告
 2011年4月1日～2012年3月31日

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- セグメント別概況
- 連結決算概要
- クローズアップ 事業探訪
- 会社概要
- 株式の状況

株主の皆様へ



代表取締役社長

林 三郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第37期(2011年4月1日～2012年3月31日)の決算の状況を報告いたします。

東日本大震災の影響による生産活動の低下や個人消費の落ち込みから不安な状況のなかで当期を迎えましたが、歌や音楽の存在価値が見直され、予想以上に早い業績回復がみられました。このようななか、営業利益・経常利益がいずれも過去最高益を更新するなど堅調に業績を伸ばすことができました。

当社グループは従来のカラオケ市場に加え、新たな市場の開拓にもチャレンジしています。当初は「娯楽」として発展してきたカラオケですが、歌うことが「健康」に有効であることが社会的に徐々に認知されてきております。特に高齢者向け市場を「プラス65」市場と名付け、高齢者の健康維持・増進、介護予防に取り組んでおり、高齢者福祉施設の当社機器導入が急速に伸長し、今後の収益の柱として十分に期待できます。

また、当社は国連本部承認のNGO機関である「国

連の友」とともに被災者の心のケアを目的として、カラオケカー帯同の巡回心療医療活動「Friends of the United Nations Sing for Smile Program」を行っています。カラオケを利用することで元気になれる、コミュニティの活性化に大いに役立つなど多大な好評を得ています。

このように当社グループは、歌や音楽を通してあらゆる人々に喜びと楽しさを提供し続けることで、社会に貢献できる企業グループを目指してまいります。

なお、本年4月に創業者である保志忠彦が取締役会長を退任して名誉会長に就任いたしました。

今後は新体制のもとで、これまで培ってきた「現場主義」「顧客主義」をはじめとする経営方針を守りながら、時代の変化に対応した新たなサービスの提供に努め、一層の業績向上に努力いたす所存でございます。

株主の皆様のご期待に応えられるよう、全社一丸となり精進してまいります。引き続き倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

当期の概況

当期におけるわが国経済は、東日本大震災による内需の一時的な停滞やタイ洪水によるサプライチェーンの混乱、欧州債務危機を背景とした歴史的な円高などの影響を大きく受けたものの、年明け以降は、円高是正や内需の回復により緩やかな回復基調で推移いたしました。

この様ななか、当社グループの業務用カラオケ事業におきましては、重点戦略地域の営業強化に加え、市場拡大が期待されるエルダー市場の開拓に注力し、DAM稼働台数は順調に増加いたしました。カラオケ・飲食店舗事業におきましては、カラオケが身近な娯楽として再評価されるなか、既存店の収益改善施策も奏功し売上高は好調に推移いたしました。音楽ソフト事業におきましては、主力アーティストの作

品群が収益に貢献いたしました。

以上の結果、当期の売上高はカラオケ・飲食店舗事業が大幅増収となったものの、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業、その他の事業が減収となったことから、127,246百万円(前期比0.5%減)となりました。利益面におきましては、その他の事業が減益となったものの、カラオケ・飲食店舗事業が大幅増益となるほか、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業は販売費等の低減により増益を確保し、営業利益は18,774百万円(同13.7%増)、経常利益は営業外収支の改善により20,544百万円(同17.7%増)となり、ともに過去最高益となりました。また、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しによる税負担の増加はあったものの、当期純利益は10,689百万円(同11.5%増)となりました。

来期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、堅調な個人消費や震災の復興需要を背景に、国内経済は緩やかな景気回復傾向が見込まれるものの、欧州での債務危機の再燃、新興国での景気減速・停滞懸念、更に原油価格の高騰など景気下振れの懸念材料も多く、当社を取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が予想されます。

この様ななか、当社グループにおきましては、カラオケ業界のリーディングカンパニーとして、若年層から高齢層まであらゆる世代でカラオケを楽しんでもらうため、カラオケ市場の活性化に注力してまいります。また、カラオケの介護予防や健康維持の効果が注目されるなか、行政の福祉政策へ協力と連携を図るなど、社会貢献活動にも努めてまいります。

来期の業績につきましては、売上高1,300億円、営業利益188億円、経常利益197億円、当期純利益114億円を見込んでおります。

連結財務ハイライト



セグメント別概況

業務用カラオケ事業

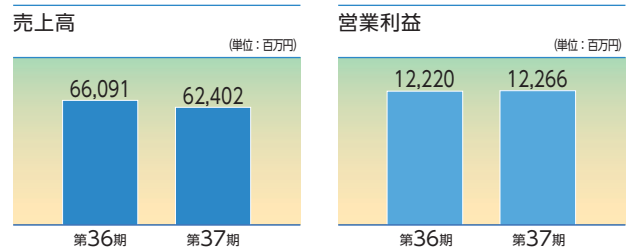


当事業におきましては、前期は「LIVE DAM」発売に呼応した大手カラオケボックスチェーンの入替需要分を集中的に出荷したことから、当期のDAM出荷台数は減少となりました。一方、その他事業者向けの出荷は、主力商品「LIVE DAM」をはじめ、昨年10月に発売したエルダー推奨機「FREE DAM」が、高齢者の生活総合機能改善機器として評価も高く、堅調に推移いたしました。また、戦略地域への営業強化に加え、被災地域の再開需要や介護、福祉施設などのエルダー市場の飛躍的な伸長もあり、DAM稼働台数は順調に増加いたしました。

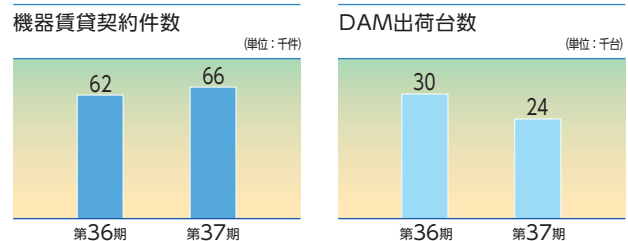
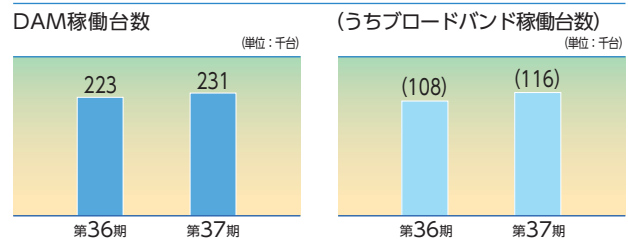
以上の結果、当期の業績は、稼働台数の増加に伴う情報料収入が増加する一方、前期の大手ボックス向け入替需要の先行出荷の反動を主因として、売上高は前期比5.6%の減少となりました。また、営業利益は、販売費等の低減に努めたことにより前期比0.4%の増加となりました。

今後の取り組みにつきましては、引き続き重点戦略地域の深耕、市場拡大が期待されるエルダー市場の開拓強化、「ひとりカラオケ」店舗の出現による新たなカラオケ需要と市場創出の期待など、「DAM」拡販による稼働台数の増加に注力してまいります。また、「DAM」の差別化を更に強固とするため、当社が強みとする映像と音源コンテンツの強化に加え、「DAM★とも」の

新サービス提供やエルダー市場向けコンテンツの開発強化にも、引き続き注力してまいります。更に、地域の中小規模カラオケボックス事業者の活性化を支援するため、当社の「ビッグエコー」で培った店舗運営ノウハウを活かし、フランチャイズブランド「カラオケ CLUB DAM」の展開を推進してまいります。



●主要数値



TOPICS (業務用カラオケ事業)

高齢化社会が進行するなか、当社グループは成長が見込まれる65歳以上のエルダー市場を「プラス65」市場と名付け、健康と歌をテーマに高齢者の健康維持・増進、介護予防およびコミュニティづくりに取り組んでおります。

当社が推奨するDKエルダーシステムは、「FREE DAM」をはじめ、福祉・介護施設などに約6,800台導入し急成長を遂げています。4月からは、新たにプレミアムコンテンツを追加いたしました。今後も健康維持や介護予防に役立つコンテンツを追加し、サービスの充実を図ってまいります。

エルダープレミアムコンテンツ

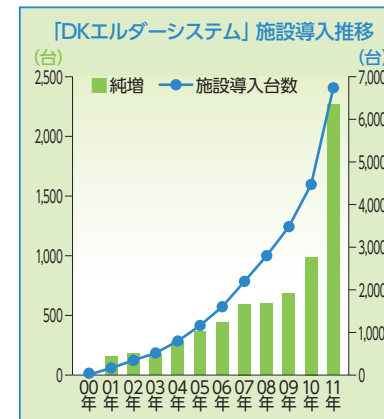
はつらつ教室 (東京都健康長寿医療センター監修)

NTTアイティが東京都健康長寿医療センター(旧・東京都老人総合研究所)監修のもとに開発した、介護予防を視野に入れたコンテンツ



想いで映画館

47都道府県各地と昭和33年~47年(1958年~1972年)の15年間で3年ごとに区切った5時代分の懐かしい映像を集めたコンテンツ



※「DKエルダーシステム」とは、生活総合機能改善機器です。

業界初のフルハイビジョン映像を搭載した通信カラオケ「LIVE DAM」は、お客様からのニーズも高く好評を得ております。今後も本人出演映像やLIVE映像の充実およびアニメやボーカロイドなどの映像を強化してまいります。また、DAMではおなじみとなった「DAM CHANNEL」も新たなMCを迎え、さまざまな音楽情報をお伝えします。

アニメ&ボーカロイド映像が 続々登場!

大人気アニメ「銀魂」をはじめ、アニメ映像を続々配信。また、新たな音楽ジャンルとして確立された「ボーカロイド」の映像強化にも着手しております。



©SEGA/©Crypton Future Media, Inc. デザイン協力:ねんどろいど



©空知英秋/集英社・テレビ東京・電通・サンライズ・アニプレックス

きゃりーぱみゅぱみゅの DAM CHANNELスタート!

カラオケ演奏の合間に最新の音楽情報やエンターテインメント情報をお伝えする「DAM CHANNEL」の10代目MCに「きゃりーぱみゅぱみゅ」を起用しました。女子中高生のカリスマ的存在の彼女が番組を通してカラオケを盛り上げます!



セグメント別概況

カラオケ・飲食店舗事業

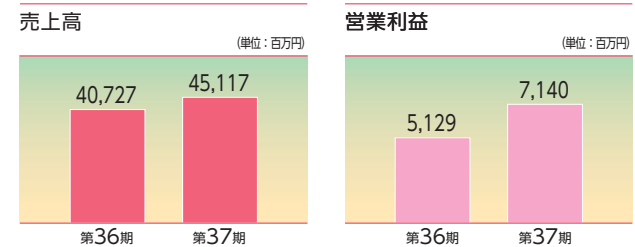


当事業におきましては、震災後の市場動向の見極めが困難ななか、新規投資を抑え、既存店の活性化施策に注力したほか、震災復興需要や「カラオケ」が身近な娯楽として再評価されたこともあり、カラオケルーム・飲食店舗ともに集客、売上高は順調に推移いたしました。カラオケルーム事業におきましては、立地の特性に応じたサービスの最適化と収益力の向上を目指し、「ビッグエコー」のマルチブランド展開に注力いたしました。また、飲食店舗事業におきましては、集客と運営効率の向上を目指し、和・洋・エスニックなどさまざまな業態ブランドを組み合わせ、顧客ニーズに合わせたサービスの提供に努めるなど、きめ細かな業態選択と再編に取り組みしました。

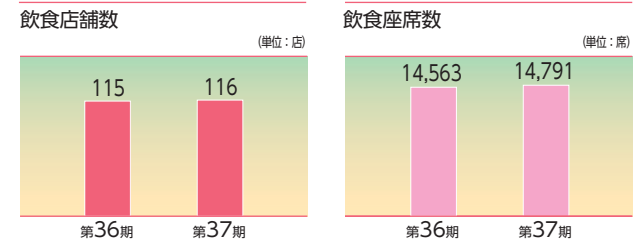
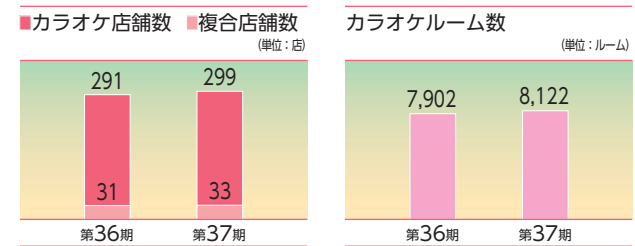
以上の結果、当期の業績は、既存店の活性化施策などが奏効したのを主因に、売上高は前期比10.8%の増加、営業利益は前期比39.2%の大幅増加となり、売上高、営業利益ともに過去最高となりました。

今後の取り組みにつきましては、カラオケルーム事業においては、地域・消費者ニーズをきめ細かく捉えるため、マルチブランド展開に磨きをかけるとともに、レディースルームやキッズルームの充実に加え、最高の音・空間などこだわりのサービス提供に努め、「ビッグエコー」ブランドの更なる向上を目指してまいります。また、飲食店舗事業におきましては、事業効率の

高い「ビッグエコー」と飲食店舗の複合型店舗展開の継続、複数ブランドを組み合わせた業態複合の取り組みやサービス品質の一層の向上に努めるなど、収益基盤の強化を図ってまいります。



●主要数値



TOPICS (カラオケ・飲食店舗事業)

「ビッグエコー」

◆女性専用「Francfrancルーム」誕生

2012年6月12日オープンビッグエコー新有楽町店(37ルーム)に、インテリアショップの「Francfranc(フランフラン)」とタイアップした「Francfrancルーム」をレディースフロアとして9ルーム新設いたしました。カジュアルで感性豊かなライフスタイルを支持する女性向けに、家具・備品はもちろん、ルームのデザインやカラーに「Francfranc」のコンセプトを取り入れ、過ごしやすい良質のカジュアル空間を実現。9ルームのうち6ルームは、靴を脱いでゆったりとご利用いただけます。店舗は「フランフラン」のほか、高級感溢れる「ラグジュアリー」、こだわりの食を楽しむ「ダイニング」の3つのコンセプトで構成しております。今後もマルチな「選べるビッグエコー」を目指し、立地や客層、利用用途に応じた店舗づくりとサービスを展開してまいります。

新有楽町店

東京都千代田区有楽町2-3-5 ORE有楽町
☎03-3569-1077

選べるルーム。多彩な3つのコンセプト

※写真はイメージ



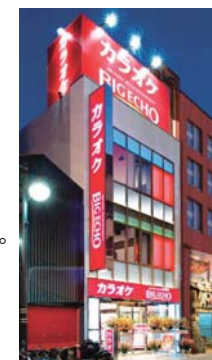
フランフランルーム

ラグジュアリールーム

ダイニングルーム

◆LED電球を全店導入

2009年12月より順次、白熱球からLED電球へ入替えを行っておりますが、昨年の東日本大震災の影響により企業に節電が求められており、電気料金の引き上げが決定していることから、2012年6月末迄にビッグエコー全店での店舗内電球のLED化を実施します。これにより、年間約1億円の電気代削減を見込んでおります。今後も、環境へ配慮した取り組みを行ってまいります。



「ダイニングバー」

2012年3月に「アイリッシュ&スポーツバー-CELTIS」2店舗が、ビッグエコーのフロントとなりオープンいたしました。CELTIS(ケルツ)は、店内に大型モニターを完備し、スポーツイベント時には、店内一体となって盛り上がりながら気軽にお酒を楽しむアイリッシュスタイルのバーです。10種以上のビールや50種類以上のカクテルなど豊富に取り揃えております。ウエディング2次会やパーティ、イベント等、貸切も可能です。ケルツは計4店舗を展開しており、今後も店舗を拡大していく予定です。ぜひ、気の合う仲間との楽しいひとときをお過ごしください。



NEW OPEN

神田小川町店 (ビッグエコー神田小川町店となり) 横浜関内店 (ビッグエコー横浜関内店となり)
東京都千代田区神田小川町2-2-6 神奈川県横浜市中区真砂町4-39
☎03-5217-0055 ☎045-680-4177

セグメント別概況

音楽ソフト事業



当事業におきましては、コストコントロールによる経営の効率化が定着するなか、芸道50周年を迎えた「北島三郎」(日本クラウン) や、「水森かおり」(徳間ジャパンコミュニケーションズ) などの演歌作品が安定した売上をみせるほか、「Perfume」(徳間ジャパンコミュニケーションズ) のアルバムやスタジオジブリのDVDが収益に貢献いたしました。また、音楽配信では、「ソナーポケット」(徳間ジャパンコミュニケーションズ) が大きく貢献いたしました。

以上の結果、当期の業績は、前期に比べ主要アーティストのリリース作品の減少により売上高は前期比5.5%

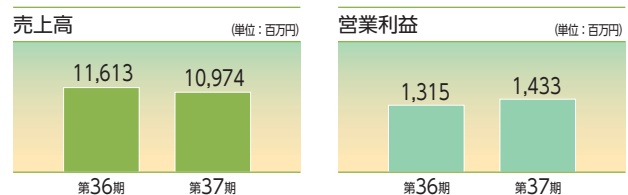
その他の事業



当事業におきましては、携帯電話向けコンテンツサービスの加入者数は減少傾向にあることからコンテンツの統廃合などのコスト低減に努め、収益改善に注力いたしました。また、衛星放送事業におきましては、加入者数の減少により不採算となっていた一部事業を平成24年3月末で撤退いたしました。そのほか、パー

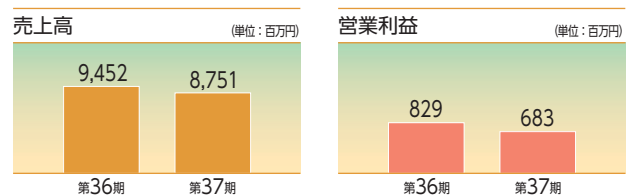
の減少となったものの、営業利益は広告宣伝費などの販売費の低減により前期比9.0%の増加となりました。

今後の取り組みにつきましては、新人アーティストの発掘・育成や安定してヒット作をリリースするアーティストの創出に注力してまいります。AKB48のメンバーで演歌歌手としてソロデビューした「岩佐美咲」(徳間ジャパンコミュニケーションズ) や人気上昇中の「ソナーポケット」(徳間ジャパンコミュニケーションズ) などが期待されており、当社グループの総合力を活かしたサポートとプロモーション活動を行ってまいります。



キング事業は順調に推移する一方、ホテル事業は、震災後の回復が鈍く軟調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は前期比7.4%減少し、営業利益は前期比17.7%の減少となりました。



TOPICS (音楽ソフト事業)

話題のアーティストをご紹介します。

◆POPS



2011年にダウンロードされた「着うたフル」、「着うたフルプラス*」、音楽ダウンロード(シングル)合算のランキングです。

ソナーポケット TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
2011年の年間レコチョクランキング*で「好きだよ。~100回の後悔~」が1位に輝き人気急上昇中のソナーポケット。
2012年1月に発売した3rdアルバム「ソナボケイズム③」はオリコンアルバムウィークリーランキング初登場2位と絶好調! 8月には初の日本武道館ワンマンライブが決定し、ノリに乗っての彼らに注目です。



BUCK-TICK TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
今年デビュー25周年を迎えるBUCK-TICK。オリジナルレーベル「Lingua Sounda」から5月に第1弾シングル「エリゼのために」と昨年12月に行われた日本武道館ライブのDVD、Blu-rayを同時発売! 7月4日には早くも第2弾シングル「MISS TAKE~僕はミス・テイク」とBUCK-TICKをリスペクトするアーティストが集結したトリビュートアルバムを発売。デビューから25年、今なおその勢いは止まらない!!



MAN WITH A MISSION CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.
4月に発売したシングル「distance」がオリコンウィークリーランキング初登場6位と絶好調! そんなオオカミ達の待望の2ndアルバム「MASH UP THE WORLD」が7月18日に発売決定! 今年の夏は全国各地のフェスでオオカミ達が大量発生します!

◆演歌・歌謡曲



北島三郎 CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.
デビュー記念日である6月5日に師匠である船村徹先生の作品「職人」で、芸道50周年を飾ります。職人の生き方、考え方をテーマに男の生きざまを描いています。7月からの明治座公演、9月の博多座、11月の御園座と精力的にステージをくり広げ、更にパワーアップした北島三郎に御期待ください。



水森かおり TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
近年、POPSがランキング上位を占めるなか、4月に発売した「ひとり長良川」がオリコンウィークリーランキング初登場4位にランクイン! TOP10入りは、「通算9作品」「9年連続」「9作連続」と女性演歌歌手歴代1位の記録を更新中です。



岩佐美咲 TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
2012年2月にAKB48(チームA)から初の演歌歌手が誕生しました。「無人駅」でソロデビューを果たした岩佐美咲こと「わさみん」。オリコンウィークリーランキング初登場5位にランクイン! 演歌界期待の若手ホープです。

連結決算概要

▶ 詳細な財務情報は、当社ホームページ「株主・投資家情報」<http://www.dkkaraoke.co.jp/stockinfo/>をご覧ください。

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	第36期 2011年3月31日現在	第37期 2012年3月31日現在
資産の部		
流動資産	50,446	52,508
固定資産	87,001	89,730
有形固定資産	47,085	51,074
無形固定資産	8,063	6,553
投資その他の資産	31,852	32,102
資産合計	137,447	142,238
負債の部		
流動負債	25,398	26,159
固定負債	24,014	22,274
負債合計	49,413	48,433
純資産の部		
株主資本	87,934	92,996
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	14,035	12,905
利益剰余金	61,552	68,730
自己株式	△ 4	△ 989
その他の包括利益累計額	△ 851	△ 170
その他有価証券評価差額金	91	793
土地再評価差額金	△ 777	△ 777
為替換算調整勘定	△ 164	△ 186
少数株主持分	951	978
純資産合計	88,034	93,804
負債及び純資産合計	137,447	142,238

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT
●流動資産 流動資産の増加2,062百万円は現金及び預金の増加7,264百万円、受取手形及び売掛金の減少3,589百万円、たな卸資産の減少2,198百万円が主なものであります。
●固定資産 固定資産の増加2,729百万円は土地の増加5,172百万円、投資有価証券の増加973百万円、無形固定資産のその他に含まれる音源映像ソフトウェアの減少1,259百万円が主なものであります。
●流動負債 流動負債の増加761百万円は未払法人税等の増加2,233百万円、未払金の増加1,318百万円、支払手形及び買掛金の減少2,762百万円が主なものであります。
●固定負債 固定負債の減少1,740百万円は長期借入金の減少1,827百万円が主なものであります。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	第36期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	第37期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
売上高	127,885	127,246
売上原価	75,819	74,872
売上総利益	52,065	52,373
販売費及び一般管理費	35,554	33,598
営業利益	16,510	18,774
営業外収益	1,475	2,267
営業外費用	528	498
経常利益	17,457	20,544
特別利益	383	45
特別損失	2,294	1,371
税金等調整前当期純利益	15,546	19,218
法人税、住民税及び事業税	6,493	8,309
法人税等調整額	△ 707	135
少数株主損益調整前当期純利益	9,759	10,774
少数株主利益	169	84
当期純利益	9,590	10,689

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第36期	第37期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	57,715百万円	59,406百万円
2. 保証債務	301百万円	163百万円
3. 担保提供資産	5,545百万円	5,229百万円
上記に対応する債務	1,997百万円	1,605百万円
4. 1株当たり当期純利益	147円26銭	167円70銭
5. 1株当たり純資産額	1,356円06銭	1,477円71銭

POINT
●売上高 カラオケ・飲食店舗事業が大幅増収となったものの、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業、その他の事業が減収となったことから前期比0.5%減少の127,246百万円となりました。
●営業利益・経常利益 その他の事業が減益となったものの、カラオケ・飲食店舗事業が大幅増益となるほか、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業は販売費等の低減により増益を確保し、営業利益は前期比13.7%増加の18,774百万円、経常利益は営業外収支の改善により同17.7%増加の20,544百万円となり、ともに過去最高益となりました。
●当期純利益 税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しによる税負担の増加はあったものの、前期比11.5%増加の10,689百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	第36期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで	第37期 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,343	32,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28,213	△ 17,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,626	△ 7,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 61	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 7,304	7,793
現金及び現金同等物の期首残高	33,877	26,573
現金及び現金同等物の期末残高	26,573	34,367

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT	
●営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前当期純利益 ・減価償却実施額 ・仕入債務の減少額	19,218百万円 14,113百万円 2,761百万円
●投資活動によるキャッシュ・フロー ・有形固定資産の取得による支出 ・無形固定資産の取得による支出 ・映像使用許諾権の取得による支出	13,386百万円 3,125百万円 1,258百万円
●財務活動によるキャッシュ・フロー ・長期借入金の返済による支出 ・配当金の支払額 ・長期借入れによる収入	4,358百万円 3,509百万円 2,513百万円

連結株主資本等変動計算書

第37期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
2011年4月1日残高	12,350	14,035	61,552	△ 4	87,934	91	△ 777	△ 164	△ 851	951	88,034
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 3,512		△ 3,512						△ 3,512
当期純利益			10,689		10,689						10,689
自己株式の取得				△ 2,115	△ 2,115						△ 2,115
自己株式の消却		△ 1,130		1,130	—						—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						702		△ 21	680	27	708
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 1,130	7,177	△ 984	5,062	702	—	△ 21	680	27	5,770
2012年3月31日残高	12,350	12,905	68,730	△ 989	92,996	793	△ 777	△ 186	△ 170	978	93,804

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

公的活動と連携しながら積極的に取り組む “カラオケのちから”を活かした社会貢献活動

歌うことで元気になれる——近年、第一興商がさまざまな取り組みを通じて実証してきたこの知見を、実際の社会貢献という形に具現化する取り組みが本格化しています。

そんな取り組みのなかから、今回は国連の友Asia-Pacificが展開する東日本大震災被災地への巡回心療医療へのカラオケカーによる協力をご紹介します。



カラオケカー被災地へ

~Friends of the United Nations Sing for Smile Program~

国連の友Asia-Pacificの展開する巡回心療医療に協力

昨年の3月11日に発生した東日本大震災では、沿岸部を中心にマグニチュード9.0の地震と津波が襲い、死者および行方不明者の数は2万人にも及びました。そして深刻な、長期化が避けられない原発の問題も起こりました。現在も、被災地では、数多くの方々が不自由で不安な避難生活や仮設住宅での生活を強いられています。そこにさまざまな地域から（顔見知りではない）被災者の方々が集まり、それゆえに孤立化や引きこもりなどコミュニケーション不足や不安が大きく、PTSD(心的外傷後ストレス

障害)など心の障害を抱えがちです。精神的なストレスから病気になってしまう高齢者の方々もいらっしゃいます。これを受け、国連の友Asia-Pacificは、「巡回心療医療“Friends of the United Nations Sing for Smile Program”」を展開することとし、医療団とセラピー犬(サモエド犬)2匹とカラオケカー(2t車を改造して、カラオケボックス仕様としたもの)が帯同することとなりました。当社では被災地からの要請を受け、このカラオケカーの派遣について協力いたしました。



宮田仮設住宅(大船渡市)でのセレモニー



杉下仮設住宅



カラオケカー内部

世界初、カラオケカーとセラピー犬で “心のケア”

これは、震災後に被災地支援のために第一興商が立ち上げた「Sing for Smileプロジェクト」の一環でもあります。このセラピー犬とカラオケカーを帯同した巡回心療医療は、世界初の試みでもあり、海外からの注目度も高いと聞いています。

カラオケカーは、2012年1月20日の朝に団長を務める松田 仁医師と2匹のセラピー犬と合流し、最初の派遣地である大船渡市宮田仮設住宅に向け出発。(この模様はニュースなどでもとりあげられました。)カラオケをご利用いただいた住民の方々からは喜びの声を多数いただいております、期間を延長して支援活動を行ってまいります。



セラピー犬



大田仮設住宅

~Friends of the United Nations Sing for Smile Program~

活動主体：国連の友Asia-Pacific／(株)第一興商／マザーズハート財団

支援団体：予防医学・代替医療振興協会／日本医学交流協会医療団

協力団体：松田病院／ALW

協力企業：三共メディカルサービス(株)／日野自動車(株)／(株)トランテックス

国連の友主催 支援活動報告会へ参加

こうした支援活動による社会貢献が認められ、5月16日、ニューヨーク国連本部における報告会への招待を受け、カラオケカー帯同の巡回心療医療活動を含めた自然災害後の心のケア、人道支援の重要性と被災地での評価について報告いたしました。

国連上層部、国連関連機関や各国国連代表団もカラオケの効能について強い関心を示され、当社の活動についても賛辞を頂戴いたしました。

このカラオケカー帯同の巡回心療医療活動は、まさにカラオケの社会的意義を顕著にあらわす活動であり、長期的に支援しなければならない「心のケア」の模範であると考えております。

当社は、今後とも国連の友に協力し、歌や音楽を通じて貢献できる取り組みを行ってまいります。



国連本部・本会議場において、国連の友、理事長&CEO Dr.Noel J.Brownより感謝状が授与されました。

会社概要

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号	株式会社 第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地	〒141-8701東京都品川区北品川5-5-26 電話 (03) 3280-2151 (大代表)
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,528名 グループ 3,013名
JASDAQ上場	1995年9月19日

新経営体制 (2012年6月22日現在)

名誉会長	保志忠彦
代表取締役社長	林三郎
専務取締役	兼上席執行役員 根本賢一
専務取締役	兼上席執行役員 熊谷達也
専務取締役	兼上席執行役員 三富洋
常務取締役	兼上席執行役員 保志忠郊
常務取締役	兼上席執行役員 村井裕一
常務取締役	兼上席執行役員 和田康孝
取締役	兼執行役員 渡邊泰人
取締役	兼執行役員 三宅彰
取締役	吉川満
取締役	清水義美
常勤監査役(社外)	石坂文人
常勤監査役(社外)	大塚信明
常勤監査役	高瀬信行
監査役(社外)	有近真澄
執行役員	有馬伸治
執行役員	小澤慎一
執行役員	小椋久広
執行役員	吉澤明人
執行役員	小林成樹
執行役員	國津洋
執行役員	大塚賢治
執行役員	小田切一央

第一興商グループ 当社及び連結子会社

38社

(2012年3月31日現在)



主な事業内容

- 業務用カラオケ事業
- カラオケ・飲食店舗事業
- 音楽ソフト事業

国内販売子会社 24社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)東海第一興商
(株)釧路第一興商	(株)台東第一興商	(株)北陸第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)京都第一興商
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)第一興商近畿
(株)常磐第一興商	(株)湘南第一興商	(株)京阪第一興商
(株)群馬第一興商	(株)新潟第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)栃木第一興商	(株)長野第一興商	(株)九州第一興商
(株)埼玉第一興商	(株)静岡第一興商	(株)沖縄第一興商

その他国内子会社 10社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ディーケー音楽出版
日本クラウン(株)	(株)クラウンミュージック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	(株)ズームリパブリック
クラウン徳間ミュージック販売(株)	ユニオン映画(株)
(株)トライエム	丸萩洋酒工業(株)

海外子会社 4社

(株)韓国第一興商	第一興商電子貿易(上海)有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	D.K.Enterprises(Guam),Inc.

(注) 1. ベスタ・フーズ(株)は2011年8月に当社を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。
2. (株)福島第一興商は2011年10月に(株)東北第一興商を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。

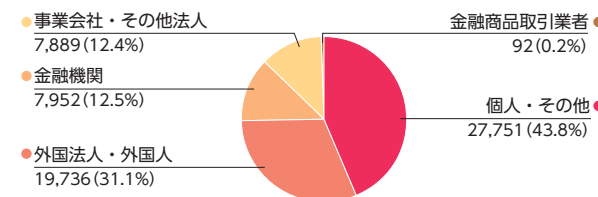
株式の状況 (2012年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 200,000,000 株
- 発行済株式の総数 63,420,596 株
- 株主数 17,192 名
- 大株主

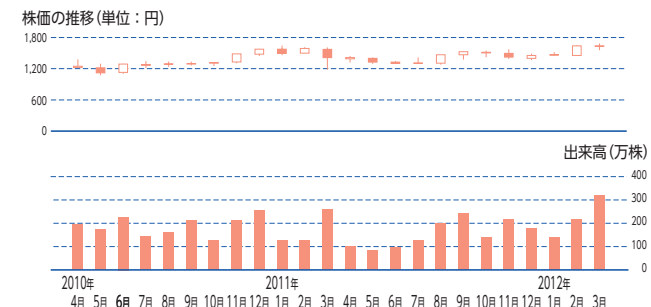
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
保志忠郊	6,846	10.7
保志治紀	6,717	10.5
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	4,832	7.6
(有)ホシ・クリエート	4,439	7.0
アサヒビール(株)	2,120	3.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,619	2.5
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148	1.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,109	1.7
ザチェスマンハットンバンクエヌエイロンドン	1,029	1.6
第一興商社員持株会	984	1.5

(注) 1. 当社は602,863株の自己株式を保有しております。
2. 持株数、議決権比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



■株価(月足)チャート



ホームページのご案内

投資家の皆様に役立つ情報やビッグエコーのお得な情報、DK ELDER SYSTEMのコンテンツ紹介などを掲載しております。ぜひアクセスしてください。

URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>



トップページ



ビッグエコー



DK ELDER SYSTEM